

# 光市記者発表資料

平成29年2月3日

件名	岐阜県養老町寄贈「野村モミジ」記念植樹式について
内容	<p>日本の森・滝・渚全国協議会で親交のある岐阜県養老町から、養老町が原産地とされる「野村モミジ」の寄贈をいただくことになりましたので、記念植樹式を下記のとおり実施します。</p> <p>1 日時 平成29年2月11日（祝） 梅まつりオープニング式典終了後13時45分頃から20分程度</p> <p>2 場所 冠山総合公園 日本庭園 ※別紙のとおり</p> <p>3 出席者 岐阜県養老町長 大橋 孝 様 光市議会議長 中村 賢道 様 光市長 市川 熙</p> <p>4 次第 (1) 開会・寄贈についての説明 (2) 光市長あいさつ (3) 岐阜県養老町長あいさつ (4) 記念植樹（養老町長、光市議会議長、光市長） (5) 閉会</p> <p>※見学者先着50名様に養老町名産のひょうたんをプレゼントします。</p> <p><b>【岐阜県養老町】</b> 岐阜県の西南部・濃尾平野に位置し、海拔0mの平野部から標高859mの養老山を擁する養老山地とその山麓部まで変化に富んだ景観を持つ自然豊かなまち。今年、養老改元から1300年という記念の年を迎えたことから、まちを挙げて「養老改元1300年祭」を開催している。その一環として、平成29年度日本の森・滝・渚全国協議会総会関連事業の開催も決定している。</p> <p><b>【野村モミジ】</b> カエデ科カエデ属の落葉広葉樹。1603年に織田信長の甥、織田河内守長孝が養老観瀑の折に、養老山中より苗木を持ち帰ったことがその由来とされる樹木。春は紅から紫を経て赤に変わり、夏は青から桃、秋には黄から赤に変わることが特長で、1年に7度色を変化させることから「七遍木」とも呼ばれる。</p>
問合せ	担当課：環境政策課 環境政策係 担当者：周田 祐子 電話 0833-72-1400（内線282）

岐阜県養老町寄贈「野村モミジ」記念植樹式場所



← 至下松 国道188号 至室積 →